

2～3面 活動方針の具現化に向けて
関係省庁・各政党へ申し入れ
4面 漁業取締船「みうら」が
人命救助

船員しんぶん

◆ホームページアドレス <http://www.jsu.or.jp> ◆Eメールアドレス kaiin@jsu.or.jp
全日本海員組合発行第3074号(昭和25年8月24日第三種郵便物認可)

2025年(令和7年)
1月15日
本紙は毎月5・15・25日発行

〒106-0032 東京都港区
六本木7丁目15番26号
全日本海員組合本部
発行人 齋藤 洋
TEL 03-5410-8329
FAX 03-5410-8337
定価1部50円
(組合員の購読料は組合費に含む)

関係省庁・各政党へ政策申し入れ 活動方針の具現化に向けて

全国大会決定事項を全国海友婦人会と共に申し入れ

第85回定期全国大会で決定された第80年度活動方針に基づく申し入れを、昨年の12月20日から25日にかけて、海事振興連盟、関係省庁、各政党に対し、全国海友婦人会と合同で行った。申し入れには松浦満晴組合長を筆頭に関係する各部門の職場委員と全国海友婦人会の酒井智代子会長が参加し、関係省庁への申し入れは衛藤征士郎名譽政治参与にご同行いただいた。

内閣府(総合海洋政策本部)



坂井学・内閣府海洋政策担当大臣がご対応

左から遠藤節総合政策部長、浅地寛人・日本海洋事業職場委員、酒井智代子全国海友婦人会会長、松浦満晴組合長、坂井学海洋政策担当大臣、衛藤征士郎名譽政治参与、大川祐司・川崎汽船職場委員、大井康平・東海汽船職場委員、立川博行政策局長

国土交通省



中野洋昌・国土交通大臣がご対応

左から浅地寛人・日本海洋事業職場委員、大井康平・東海汽船職場委員、酒井智代子全国海友婦人会会長、松浦満晴組合長、中野洋昌国土交通大臣、衛藤征士郎名譽政治参与、内山拓哉・日本郵船職場委員、立川博行政策局長、遠藤節総合政策部長

海事振興連盟



山本順三・海事振興連盟事務総長がご対応

左から立川博行政策局長、大川祐司・川崎汽船職場委員、酒井智代子全国海友婦人会会長、松浦満晴組合長、山本順三事務総長、衛藤征士郎最高顧問、浅地寛人・日本海洋事業職場委員、遠藤節総合政策部長

申し入れ先

- 内閣府(総合海洋政策本部)
- 国土交通省
- 農林水産省
- 文部科学省
- 防衛省
- 総務省
- 海事振興連盟
- 自由民主党
- 立憲民主党
- 国民民主党

内閣府の坂井学・海洋政策担当大臣にご対応いただき、2021年5月、来島海峡航路西口付近で内航貨物船と外国籍船ケミカルタンカーの海難事故が発生した件において、事故の発生から3年以上が経過しているにもかかわらず、これまで運輸安全委員会から示されたのは、事件概要が記述されている経過報告で、最終的かつ具体的な調査結果と原因の報告書がまだ開示されていないとして、海難事故における運輸安全委員会の役割と迅速な対応を強く求めた。



申し入れのようす

内閣府
(総合海洋政策本部)
海難事故における運輸安全委員会の役割と迅速な対応を強く求める

申し入れでは、国民民主党のマフレストに記載されている高速道路料金の「補修費や建設費も考慮に入れながら償還期間や金利を実態に合わせて見直す」こと等により、上限設定(定額制)など新たな料金体系を検討します」とあることについて、高速道路と船の関係は、瀬戸内海の宇野―高松航路が休止するなど、高速道路と競合するカーフェリー・旅客船の航路存続が危ぶまれることもあり、道路偏重政策にならないよう、強く求めた。



申し入れのようす

国民民主党
高速道路の料金体系について、カーフェリー・旅客船航路を踏まえ、道路偏重政策にならないよう強く求める

海難防止と安全対策・平和な海を希求



江藤拓・農林水産大臣がご対応

農林水産省

左から遠藤飾総合政策部長、大川祐司・川崎汽船職場委員、大井康平・東海汽船職場委員、酒井智代子全国海友婦人会会長、松浦満晴組合長、江藤拓農林水産大臣、衛藤征士郎名誉政治参与、高橋健二水産局長、浅地寛人・日本海洋事業職場委員、立川博行政策局長



中谷元・防衛大臣がご対応

防衛省

左から立川博行政策局長、浅地寛人・日本海洋事業職場委員、酒井智代子全国海友婦人会会長、松浦満晴組合長、中谷元防衛大臣、衛藤征士郎名誉政治参与、大川祐司・川崎汽船職場委員、大井康平・東海汽船職場委員、遠藤飾総合政策部長



あべ俊子・文部科学大臣がご対応

文部科学省

遠藤飾総合政策部長、大井康平・東海汽船職場委員、酒井智代子全国海友婦人会会長、衛藤征士郎名誉政治参与、あべ俊子文部科学大臣、松浦満晴組合長、浅地寛人・日本海洋事業職場委員、内山拓哉・日本郵船職場委員、立川博行政策局長



村上誠一郎・総務大臣がご対応

総務省

左から遠藤飾総合政策部長、浅地寛人・日本海洋事業職場委員、大川祐司・川崎汽船職場委員、松浦満晴組合長、村上誠一郎総務大臣、酒井智代子全国海友婦人会会長、衛藤征士郎名誉政治参与、大井康平・東海汽船職場委員、立川博行政策局長

関係省庁へ早急なる対応を要望

船員後継者の確保・育成・定着など課題は山積

森山裕・自由民主党幹事長がご対応



左から立川博行政策局長、大井康平・東海汽船職場委員、酒井智代子全国海友婦人会会長、松浦満晴組合長、森山裕自由民主党幹事長、衛藤征士郎名誉政治参与、浅地寛人・日本海洋事業職場委員、大川祐司・川崎汽船職場委員、遠藤飾総合政策部長

自由民主党

大島敦衆議院議員(企業・団体交流委員長)がご対応



左から遠藤飾総合政策部長、齋藤洋総務局長、山本浩治・新日本海洋社職場委員、石井創・出光タンカー職場委員、浅地寛人・日本海洋事業職場委員、立川博行政策局長、松浦満晴組合長、大島敦衆議院議員(企業・団体交流委員長)、森本真治参議院議員(組合政治参与)、城井崇衆議院議員(組合政治参与)、徳永エリ参議院議員(組合政治参与)、白石洋一衆議院議員、池田真紀衆議院議員、森屋隆参議院議員、打越さく良参議院議員、村田享子参議院議員、下野幸助衆議院議員、野田国義参議院議員、牧山ひろえ参議院議員、熊谷裕人参議院議員

立憲民主党

古川元久衆議院議員(国民民主党代表代行)がご対応



左から遠藤飾総合政策部長、立川博行政策局長、石井創・出光タンカー職場委員、齋藤洋総務局長、山本浩治・新日本海洋社職場委員、浅地寛人・日本海洋事業職場委員、松浦満晴組合長、古川元久衆議院議員(国民民主党代表代行)、西岡義高衆議院議員、福田玄衆議院議員、向山好一衆議院議員、石井智恵衆議院議員、浜野喜史参議院議員、西岡秀子衆議院議員、鳩山紀一郎衆議院議員、竹詰仁参議院議員、臼木秀剛衆議院議員、浜口誠参議院議員

国民民主党

魅力あふれる船員の職場へつなげる

全国大会決定事項の申し入れ(概要)

昨年12月20日の立憲民主党と国民民主党への申し入れを皮切りに、12月24日は文部科学省、国土交通省、翌12月25日は防衛省、総務省、農林水産省、自由民主党、内閣府、海事振興連盟などの、関係省庁と各政党などへ行った。申し入れの内容は、第85回定期全国大会の決定事項に基づくもので、松浦満晴組合長がこの申し入れ文書「海運・船員の政策諸課題に関する申し入れ」を関係省庁および各政党に赴き手交し、それぞれを詳細に説明し、理解を求めた。

海運・船員の政策諸課題に関する申し入れ(海事振興連盟宛て・要項事項概要)

- ① 海難防止への取り組みと安全対策
- ② 船員の確保・育成の推進
- ③ 船員養成教育機関の維持・定員拡大
- ④ 海に親しむ活動
- ⑤ 「海の日」の7月20日への固定化
- ⑥ カボタージュ規制の堅持
- ⑦ 船員税制
- ⑧ 代替燃料への対応
- ⑨ 自動運行船への対応
- ⑩ 情報通信インフラの整備
- ⑪ 洋上投票制度
- ⑫ 外国人船員の上陸制限問題への対応
- ⑬ ソマリア沖・アデン湾海域における海賊等事案の対策
- ⑭ 東南アジア海域、インド洋沿岸域における海賊等事案の対策
- ⑮ 西アフリカ、ギニア湾周辺海域における海賊等事案の対策
- ⑯ 紛争地域ならびにわが国周辺海域における航行船舶の安全確保
- ⑰ 船用燃料補助政策への取り組み
- ⑱ フレリー・旅客船の維持・存続
- ⑲ 本州四国連絡橋および東京湾横断道路で働く者の雇用の維持・存続
- ⑳ 「久里浜-金谷」航路の維持・存続
- ㉑ 代替建造の推進
- ㉒ 生産者魚価の確立と漁業用燃料油価格対策
- ㉓ 海難事故の撲滅と安全な漁業労働環境
- ㉔ 気候変動の影響と対策
- ㉕ 漁船漁業による漁業生産量の拡大
- ㉖ 違法漁船の廃絶
- ㉗ 各漁業への対応
- ㉘ 遠洋・近海まぐろ延縄漁船の順法精神と適格性
- ㉙ 海洋資源調査の拡大
- ㉚ 日本人漁船員の後継者確保・育成
- ㉛ 水産系教育機関の維持・存続と連携強化
- ㉜ 外国人材の権利擁護
- ㉝ 漁業最低賃金の適用漁業種拡大
- ㉞ 大会決議「カボタージュ規制堅持を求める決議」



三崎港



本組が乗組員の救助活動を称え、表彰状と記念品を贈呈

三崎支部が担当する七洋船舶株式会社が連航している漁業取締船「みうら」は、令和6年8月10日、博多港に停泊中、司厨長が海中に人の姿を発見し、乗組員は統率のとれた連携で人命救助活動を行った。

救助活動は一等航海士の指示のもと、救命浮環を海に投げ込み、二等航海士と甲板手が海に飛び込み、他の乗組員と協力しながら本船に搭載している連絡船で要救助者を引き上げ、博多臨港警察署に連絡し、救助することができた。この素晴らしい救助活動の栄誉をたたえ、救助に携わった乗組員一同へ、本組合から表彰状と記念品を贈呈した。

第一発見者の花房伸一司厨長は「みんなの協力で人命救助を行い、大切な命を救って本当に良かった」と語り、田中陽一・二等航海士(当時)・等航海士と串崎睦月甲板手は「救助者が助かり本当に良かった。本船の乗組員として誇れる行動がとれて良かった」と語った。

三崎支部が担当する七洋船舶株式会社が連航している漁業取締船「みうら」は、令和6年8月10日、博多港に停泊中、司厨長が海中に人の姿を発見し、乗組員は統率のとれた連携で人命救助活動を行った。

救助活動は一等航海士の指示のもと、救命浮環を海に投げ込み、二等航海士と甲板手が海に飛び込み、他の乗組員と協力しながら本船に搭載している連絡船で要救助者を引き上げ、博多臨港警察署に連絡し、救助することができた。

この素晴らしい救助活動の栄誉をたたえ、救助に携わった乗組員一同へ、本組合から表彰状と記念品を贈呈した。

七洋船舶株式会社 漁業取締船「みうら」 乗組員の連携で人命救助

全国発信記事
三崎支部 = 発信



三崎港に帰港した「みうら」で記念写真



小林泰之大阪支部長のあいさつ

白浜町立第一小学校の体育館で出前講座 児童たちに 講話で船の魅力伝える

全国発信記事
大阪支部 = 発信

12月13日、13時30分から和歌山県・白浜町立白浜第一小学校と白浜町立第一小学校の5年生の児童33人が参加し、出前講座を開催した。講座では、現役船員の新日本海



出前講座のようす

フェリーの森健輔職場委員とNX海運の鈴木孝二職場委員が講師を担い、子どもたちに日本の貿易における船舶の重要性と船員の魅力を知ってもらうため「日本と世界の貿易」をテーマにパワーポイントを用いて講話を行った。

講話の冒頭、白浜町立第一小学校の代表生徒からあいさつがあり、続いて小林泰之大阪支部長が出前講座について説明、あいさつした。その後、職場委員から世界の貿易における日本の位置付けや、和歌山県の貿易、船の種類の説明を行い、船で運べる貨物の量などをクイズ形式で出題、子供たちが興味を持って学習できるといった講話を進めた。

講話の最後は、児童たちから「船で勤務している人数や船上での食事▽船員の給料はいくらかな」などの質問があり、講師から説明を行い、理解を深めた。

最後に白浜町立第一小学校の代表生徒から「船舶が僕たちの生活に重要であることを強く感じ、とてもいい勉強になった」とのあいさつがあり、参加児童全員に記念品を手渡し終了した。

講話の最後は、児童たちから「船で勤務している人数や船上での食事▽船員の給料はいくらかな」などの質問があり、講師から説明を行い、理解を深めた。

最後に白浜町立第一小学校の代表生徒から「船舶が僕たちの生活に重要であることを強く感じ、とてもいい勉強になった」とのあいさつがあり、参加児童全員に記念品を手渡し終了した。

2025年1月15日
中央選挙委員会 議長 齋藤 洋

第40期全国委員の当選告示
一、2025年1月5日付で告示した第40期全国委員補充選挙については、立候補の受け付けを締め切り、立候補者の資格審査を行い、候補者が適格であることを確認した。対立候補者がいない立候補状況であることから、全国委員選挙規則第25条D項により投票を略し、当選人を次の通りとする。

《地方区・地方単位》
03 関東 (補充定員1名・立候補者1名)
当選人 遠藤 将実 静岡支部支部長
06 九州関門 (補充定員1名・立候補者1名)
当選人 河合 俊季 九州関門地方支部執行部長
《企業区・企業単位》

049 関東地区港湾Bグループ (補充定員1名・立候補者1名)
当選人 前田 勉 東京シブサービス 船長

第40期全国委員の資格喪失告示
一、次の者は、規約第47条A項6号により、全国委員資格を喪失したので告示する。

《地方区・地方単位》
03 関東 北端 大志
一、次の者は、規約第47条A項8号により、全国委員資格を喪失したので告示する。
《企業区・企業単位》
092 愛媛地区Cグループ 中野 健太

第40期全国委員・補充選挙の告示
規約第45条および全国委員選挙規則第25条に基づき、第40期全国委員補充選挙の実施について次のとおり告示する。

一、補充選挙を行う選挙単位と補充定員
《選挙単位コード・単位名》
地方単位 03 関東 1名
企業単位 092 愛媛地区Cグループ 1名

二、補充選挙の実施日程
立候補届出期間 2025年1月15日より
候補者告示 2025年1月24日まで
投票期間 2025年1月25日より
2025年2月24日まで
当選人告示 2025年2月25日(予定)

三、補充選挙の被選挙人
(1) 地方区
全国委員選挙規則第25条A項により、補充選挙告示日に当該地方単位の支部機関に配属されており、選挙資格を有する執行部員とする。
(2) 企業区
全国委員選挙規則第25条B項により、補充選挙告示日に補充選挙を行う企業単位の所属する完全資格組合員とする。

四、立候補の届け出
立候補をする者は、全国委員選挙規則附表の一に定める様式に基づき立候補届を当該地区選挙委員会へ提出すること。

五、補充選挙の実施に関する問い合わせ先
中央選挙委員会事務局(総務部) 以上

049 関東地区港湾Bグループ (補充定員1名・立候補者1名)
当選人 前田 勉 東京シブサービス 船長

第40期全国委員の資格喪失告示
一、次の者は、規約第47条A項6号により、全国委員資格を喪失したので告示する。

《地方区・地方単位》
03 関東 北端 大志
一、次の者は、規約第47条A項8号により、全国委員資格を喪失したので告示する。
《企業区・企業単位》
092 愛媛地区Cグループ 中野 健太

第40期全国委員・補充選挙の告示
規約第45条および全国委員選挙規則第25条に基づき、第40期全国委員補充選挙の実施について次のとおり告示する。

一、補充選挙を行う選挙単位と補充定員
《選挙単位コード・単位名》
地方単位 03 関東 1名
企業単位 092 愛媛地区Cグループ 1名

二、補充選挙の実施日程
立候補届出期間 2025年1月15日より
候補者告示 2025年1月24日まで
投票期間 2025年1月25日より
2025年2月24日まで
当選人告示 2025年2月25日(予定)

三、補充選挙の被選挙人
(1) 地方区
全国委員選挙規則第25条A項により、補充選挙告示日に当該地方単位の支部機関に配属されており、選挙資格を有する執行部員とする。
(2) 企業区
全国委員選挙規則第25条B項により、補充選挙告示日に補充選挙を行う企業単位の所属する完全資格組合員とする。

四、立候補の届け出
立候補をする者は、全国委員選挙規則附表の一に定める様式に基づき立候補届を当該地区選挙委員会へ提出すること。

五、補充選挙の実施に関する問い合わせ先
中央選挙委員会事務局(総務部) 以上

049 関東地区港湾Bグループ (補充定員1名・立候補者1名)
当選人 前田 勉 東京シブサービス 船長

第40期全国委員の資格喪失告示
一、次の者は、規約第47条A項6号により、全国委員資格を喪失したので告示する。

《地方区・地方単位》
03 関東 北端 大志
一、次の者は、規約第47条A項8号により、全国委員資格を喪失したので告示する。
《企業区・企業単位》
092 愛媛地区Cグループ 中野 健太

第40期全国委員・補充選挙の告示
規約第45条および全国委員選挙規則第25条に基づき、第40期全国委員補充選挙の実施について次のとおり告示する。

一、補充選挙を行う選挙単位と補充定員
《選挙単位コード・単位名》
地方単位 03 関東 1名
企業単位 092 愛媛地区Cグループ 1名

二、補充選挙の実施日程
立候補届出期間 2025年1月15日より
候補者告示 2025年1月24日まで
投票期間 2025年1月25日より
2025年2月24日まで
当選人告示 2025年2月25日(予定)

三、補充選挙の被選挙人
(1) 地方区
全国委員選挙規則第25条A項により、補充選挙告示日に当該地方単位の支部機関に配属されており、選挙資格を有する執行部員とする。
(2) 企業区
全国委員選挙規則第25条B項により、補充選挙告示日に補充選挙を行う企業単位の所属する完全資格組合員とする。

四、立候補の届け出
立候補をする者は、全国委員選挙規則附表の一に定める様式に基づき立候補届を当該地区選挙委員会へ提出すること。

五、補充選挙の実施に関する問い合わせ先
中央選挙委員会事務局(総務部) 以上